

問合わせ先

第二管区海上保安本部海洋情報部

監理課長 長尾 道広

電話 022-363-0111 (内線 2510)



平成23年12月2日

第二管区海上保安本部

## 八戸港の水深測量の成果がまとまりました

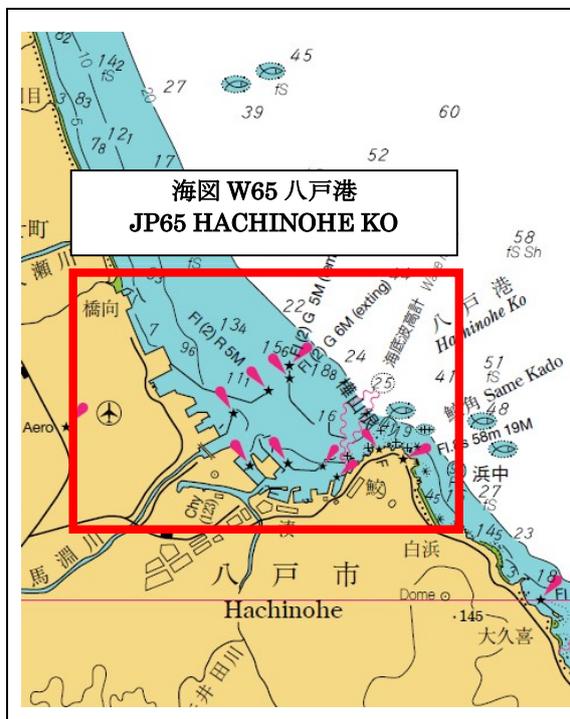
八戸港における航路及び主要な岸壁付近の精密な水深測量の成果がまとめ、港内の海底の現状を正確に把握できました。

第二管区海上保安本部では、東北地方太平洋沖地震により被災した管内の港湾について、水深の変化や海底の障害物の状況等を把握し、海図に反映するため、水深などの測量を実施しています。

今般、7月から8月にかけて海上保安庁測量船「天洋」(430トン)により実施した八戸港における測量データの解析処理が終了し、以下のとおり、航路などの詳細な状況が明らかになりました。

- (1) 防波堤付近の航路等が狭まった箇所においては、震災前に比べて水深が最大で約15m深くなっていることが分かりました。
- (2) 岸壁の前面は最大で約2mと全体的に浅くなっていました。また、港内の一部においては水深が約1m浅くなっている区域や異状物が多数確認されました。これらについては、航行の安全のため、二管区水路通報で周知を行っています。

海上保安庁では、これらの成果を海図に反映し、改訂した海図を平成24年1月中に刊行する予定です。



総トン数 430トン  
主要寸法 (全長×巾×深)  
56.0×9.8×5.0m  
速力 約13ノット  
航続距離 約5,400海里  
主要観測機器  
マルチビーム測深機  
XBT  
ADCP

# 八戸港 測量成果

別紙

